

23/7/24 河村たかし名古屋市長定例記者会見(名古屋城部分)

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

記者： 中日新聞の菊谷です。

ちょっと違う質問で。自分の感覚で申し訳ないですけど、5類移行後、観光客も増えている印象があって、町が普通に街歩いても外国人が多い。3年前もそういう感じだったかもしれませんが、もちろんコロナ感染者も気をつけなきゃいかんですが、やっぱりチャンスではないかなと思っておりまして、今年の春とかちょっと賑わったあの例のタイム誌での名古屋の紹介とかで、結局1年で一番人が動く夏を迎えるにあたって、何かその後、観光戦略とか、何かこの夏はっていうのは何かあるでしょうか。知多ハイボール含めて。

市長： 知多ハイボール、ちょっと内緒になっておりますけどしかしね、でもねこれは内緒でもないわね知多ボールと、あそこのなんだった、ジブリパークということで、

記者： ジブリはなんか好調みたいですけど、

市長： はいはい、ええんじゃないんですか、ハイボールもなかなか旨いし、

記者： 問題は名古屋市です。外国人が名古屋を最も評価したらしいんですよ

市長： ああいうのタイム誌に出るとね、やっぱり名古屋も行こうかなと、若干思っていたかということ、どえりゃありがたいことだけど、そればかり言っとる言ってもらっては困るけど、名古屋のお城ですわ。シンボルやっぱり。それは図面もある木造復元を成し遂げると、家康さんが登ったん、登ったでいいと井沢元彦さんが言ってましたんで。

記者： お膝下ということなので

市長： そうでしょ、やっぱそういう本物性の際立つものですね、やっぱ作らんと持続せんと思いますよ私は。人間の歴史にトラディションの伝統に対するリスペクトというのが、みんな持つというのはやっぱ重要だわな。名古屋で外人に「あんたどこ行くの」英語で聞いたろうと思ったときもあったけど、ちょっと感じ悪いでやめといたけどね。そういうことですかね。

熱田神宮もええですけど、

記者： ただ実際、名古屋を観光してる人いっぱいいますよね。

実際名古屋市も含めてね。

だから例えば観文の方で何かそういうまた調査とか、何か次の手を打つみたいなのってないのかなと思っただんですけどね。

市長： ほんとだね。ちょっと言ってきますけど、

記者： 本物を作る時期がどうしてもまだ長いんで、どうしてもね、まだこれから 10 年スパンかもしれませんが、でも、まだまだその間、名古屋の魅力発信、他とかにもあるのかなと思ったんですけど、

市長： 今わしがわあわあ言っとるのは、例えば名古屋まつりのこの山車のパレードもありますけど、あれは本町通りを昔は通っておったんであう江戸時代に。あのぐらいの広さの方が雰囲気が出て、あれなんかなかなかお囃子もあるし提灯つけて夜行きますと綺麗ですよこれ。

例えばそういうのでやってちょと言ったんだけど、どうなったよ。何年言っておるんだ、わしこれ。

最大の問題はね。

その観光とかそういうジャンルでいいんだけど、やっぱり倒産するという人がやらないかんですよ、お客が来ないと。

僕らのセンスと決定的に役所は違うやっぱり、役所はねお客が来ん方がええんです、面倒くさで、ほんとうに。それは事故は起こるかかわからんでしょう、ようけくると、賑わうと。だけど民間はお客が来ないと倒産するんですよ。これが、だからそういう人がプランニングにいないと、秘書室長どうよ

記者： 必要だって思えばこそ、そういう人たちなんかも、ですね。

市長： なんかわけわからんこと言っておりますけど、どうかね

記者： 実際ティアドとかすごい立派なホテルもね、建ててこられた市長も、落成式多分行かれたと思うんですけど、だから何か倒産したら困る、そういう業界の人もコロナ禍すぎて、それなりにやっぱり何かまた仕掛けようとしてるんじゃないかなと思うんですけど。

市長： それとまあ一個端的に言うと久屋の通りねテレビ塔の通り、あそこで名古屋って音大が四つあるんですよこれ。実は。結構東京の次ぐらいに多いはずですよ音大が。

ほんだで、学生がそういう自分のパフォーマンスをする場所がなかなかないがね、別にオーケストラでなくてもですよ、バイオリン一本でもええわけですよ、名フィルでもいいんだけどセントラル交響楽団、あそこんどこで、あそこんどこ広いもんだで同時に、4ヶ所ぐらいでできますよこれ。

というようなね、バイオリンでもちょっと弾いてもらうと、錦三でもね、フランスの絵画がなんか昔の映画に出てくるような、ちょっとアンニュイな雰囲気ですか。アンニュイなというのは言っとるんだけど、全然、河村さんの指導力不足か何か知らんけど、今度なんかやるって言っとったね、ここで何だった、あれ。

市長： 土曜日、あれ、学生だろう。

市職員： もうやったやつ。実施したもの。

市長： 終わったって。

あれでも何年かかったね、3年ぐらいかかってせんきや、わし初めからいっとくだけど、これ、だけどやってもらってええって。

記者： いずれにしてもコロナ禍で5類になってまた夏休み夏、ずっとこれからもそうでしょうけども、やっぱりまた、海外からも見ても注目されるチャンスではないのかなと。

もちろん名古屋城がね、あの市長の理想の木造復元になれば、さらにそれでまたパワーアップするでしょうけども、この間、また何か日本に名古屋ありっていう観光戦略っていうのは個人的にはあってもいいのかなと思うんですけど。

市長： あってもいいですよ、

記者： ということでちょっと質問してるんですけど。

市長： なるほど、あれか全然民間が新聞もええけど、テレビ局のちょっと事業局なんかやっとなる陣にちょっと来てもらって何かアイデア出ししてくれって言って、例えば、どうだいテレビ局、

記者： どまつりとか名古屋まつり以外に。

市長： ほんとになあ、名古屋の人はそういうのは非常に待ちわびておると思いますよ、みんな。盛り上がるの。うまいもんを食うとか、大阪が怒るかわからんけど、たこ焼きワールドカップとかやってみるかって、一遍。

記者： 手羽先、

市長： 手羽先はやっとなるけど、面白いで、たこ焼きもええし、お好み焼きでも、昔の5円か10円のお好み焼きで、醤油しかつけていかん、ソースはいかんって、なんかわからんけどね。

それをある財界の人は「河村さん、名古屋はやっぱ東京と大阪の真ん中にあると、まず地形的に非常にラッキーなんだと。それからやっぱトヨタ自動車があると、なんと言っても。名古屋港の貿易黒字7兆円、世界ナンバーの。そういうことで非常に危機感が薄いわ」といった、そういう。その点、大阪の方が強いと。何とかしようよという危機感が、毎回言われとる。広い道路ばかり作ってまったと、あそこへ行ってまうんですわ、本当になあ、人間と同じでねまっすぐずっと道路が見えたらね、町なんかできとらんですよ。本当にロングアンドワインディングロード。ビートルズが歌ったんでないの。

司会： すいませんちょっと他に各社。